

| | | | |
|------|----|---|---|
| 第3学年 | 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・記述式の解答に弱い ・資料の活用が不十分 ・漢字の読み書きは得意 | <ul style="list-style-type: none"> ・読解力の育成 ・文章による表現力の向上 ・資料から情報を読み取る練習 |
| | 数学 | <ul style="list-style-type: none"> ・分数、式変形、関数、他の単元との繋がりが希薄な問題に弱い | <ul style="list-style-type: none"> ・復習と繰り返し練習 |

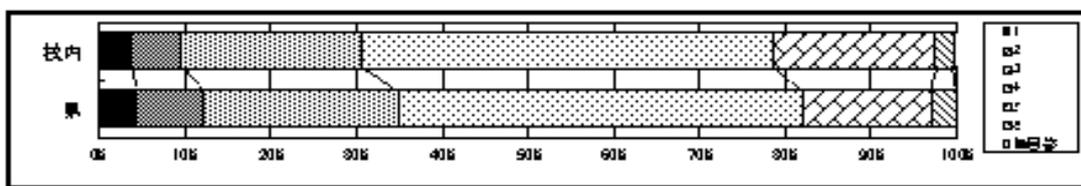
2 生活状況調査アンケートの結果と分析

岡山県全体が抱えている大きな課題である「家庭学習時間」については本校でも課題が大きく、特にこの問題についての分析を重点的に行った。

【第1学年】 1…4時間以上、2…3時間以上4時間未満、3…2時間以上3時間未満、4…1時間以上2時間未満

(47) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をされていましたか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教えている時間も含まれます。)

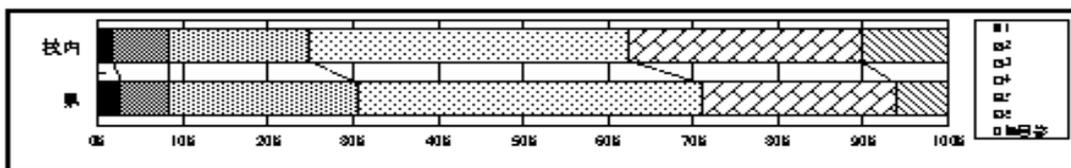
| | 1 1時間以上 | 2 2時間以上、3時間未満 | 3 3時間以上、4時間未満 | 4 4時間以上、5時間未満 | 5 5時間以上、6時間未満 | 6 6時間以上 | 無回答 |
|----|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------|-----|
| 校内 | 3.7 | 5.8 | 21.1 | 47.9 | 18.9 | 2.1 | 0.5 |
| 県 | 4.3 | 7.8 | 22.8 | 47.1 | 15.1 | 2.8 | 0.1 |



【第2学年】 1~4の項目については【第1学年】と同じ

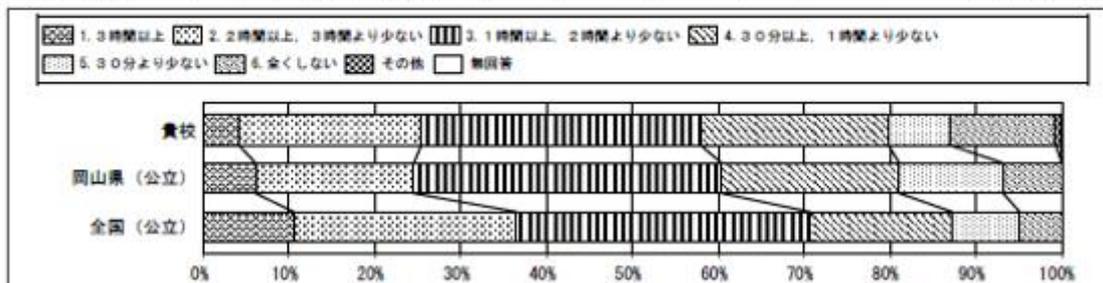
(50) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をされていましたか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教えている時間も含まれます。)

| | 1 1時間以上 | 2 2時間以上、3時間未満 | 3 3時間以上、4時間未満 | 4 4時間以上、5時間未満 | 5 5時間以上、6時間未満 | 6 6時間以上 | 無回答 |
|----|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------|-----|
| 校内 | 1.6 | 6.5 | 16.7 | 37.6 | 27.4 | 10.2 | 0.0 |
| 県 | 2.6 | 5.7 | 22.2 | 40.5 | 23.0 | 6.0 | 0.1 |



【第3学年】

| 質問番号 | 質問事項 | | | | | | | | | | その他 | 無回答 |
|---------|---|------|------|------|------|------|---|---|---|----|-----|-----|
| (14) | 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教えている時間も含む) | | | | | | | | | | | |
| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | その他 | 無回答 |
| 貴校 | 4.1 | 21.3 | 32.5 | 21.9 | 7.1 | 12.4 | | | | | 0.6 | 0.0 |
| 岡山県(公立) | 6.1 | 18.4 | 35.9 | 20.7 | 12.1 | 6.8 | | | | | 0.0 | 0.0 |
| 全国(公立) | 10.5 | 25.9 | 34.2 | 16.6 | 7.9 | 4.9 | | | | | 0.0 | 0.0 |



《 考 察 》

特に注目したい点は、学年を追うごとに家庭での平日1時間以上の学習時間が減少している点です。また、第3学年においては、全国の平均と10%以上の差があるだけでなく、3学年の中でも1時間以上の家庭学習時間が最も少なくなっているのは本校にとっては**最重要課題**と言えます。これに対する改善策として、①普段からしっかり声かけをすることで常に意識をもたせる、②保護者にもこのことを知らせることで、学校と家庭の連携を図り充実した家庭学習の時間を確保するように導く、③家庭学習に直結する課題の出し方について再度検討する、といった手立てを考えました。

小中連携の一つとして昨年度から実施している「家庭学習チャレンジ」については、定期考査と関連性もあるため生徒や保護者の意識も高く、今後もこのような取り組みを通して家庭学習の充実をさらに図っていきたいと思っています。なお、本年度第1回目の「家庭学習チャレンジ」についての結果は次の通りとなっています。

《実施期間：平成30年6月26日（火）～7月4日（水）》

| 学 年 | 男女別平均学習時間 | | 学年全体平均学習時間 |
|------|-----------|--------|------------|
| 第1学年 | 男 子 | 3時間05分 | 3時間17分 |
| | 女 子 | 3時間30分 | |
| 第2学年 | 男 子 | 2時間39分 | 2時間40分 |
| | 女 子 | 2時間40分 | |
| 第3学年 | 男 子 | 2時間43分 | 3時間18分 |
| | 女 子 | 3時間44分 | |

なお、次回の「家庭学習チャレンジ」の実施は11/2（月）～12/4（火）の9日間を予定しています。

3 今後の学習指導の重点

学校で

- ・読解力の向上
- ・文章による表現力の向上
- ・繰り返し学習
- ・宿題の出し方の工夫

家庭で

- ・家庭学習の時間の確保
- ・スマホやネットの適正な利用時間（ルールの徹底）